

春の叙勲で瑞宝単光章を受章された前消防団長の松林茂さん（伊丹沢）の叙勲受章祝賀会が宿泊体験館「きこり」で開かれ、消防団関係者や地元地区住民、親戚・家族など100人が出席して、松林さんの受章を祝いました。

この祝賀会は、消防関係者8人の祝賀会発起人（代表・荒利喜消防団長）

松林さんの栄誉を祝福

8/4 瑞宝単光章 叙勲受章祝賀会



▲祝賀会の様子

が主催しました。祝賀会では、はじめに発起人代表の荒団長が「松林さんの受章は私たち消防団員にとっても大きな誇りです。松林さんには村消防団の発展のため今後ともご尽力をお願いいたします」とあいさつしたの続き、来賓の菅野村長、北原昇村議会議長、加藤貞夫県議会議員、荒忠夫県消防協会相馬支部長が



▲謝辞を述べる松林さん

松林さんは49年間にわたり消防団員として活動され、この間、消防長官永年勤続功労章、福島県知事功績章、飯館村特別功労章など数々の輝かしい章を受けられました。また、消防関係以外にも行政區長や農業委員、農協理事、民生委員も務められるなど、多方面にわたる村勢発展に尽力されてきました。

乾杯後の祝宴では、伊丹沢芸能保存会の皆さんによるアトラクションなどが披露されました。

さらに、消防関係者などから松林さんへ記念品や花束が贈呈された後、松林さんが「多くの先輩や同僚、関係機関団体の皆様方のご指導とご協力をいただき、49年間にわたり防火防災のために奉仕することができました。この受章に恥じないよう一層精進します」と謝辞を述べました。



▲乾杯する出席者ら



▲大会の様子

今年も元気にハッスルプレー

8/20 村老人クラブ連合会「ゲートボール大会」

村老人クラブ連合会（大東正男会長）のゲートボール大会が草野の「ふれあい交流館」でやま。で開催され、村内から10チーム68人が参加して熱戦を繰り広げました。

この大会は、同連合会の年間事業の一つとして、村ゲートボール協会の協力を得て開催しており、今年で5回目。予選リーグと決勝トーナメントで試合を行い、二枚橋・須萱チームが優勝しました。

【大会結果】
優勝…二枚橋・須萱
準優勝…関根・松塚
第3位…草野七福第2

みんなのひろば

ここはみなさんが主役のひろばです。身近な話題をどんどんお寄せください。

■役場総務課 TEL42-1613



祭りだワッショイ！



▲元気に登場する子ども御輿



▲最後はみんなで盆踊り

特老「いたてホーム」の夏まつりが、ホーム前庭と駐車場で開催され、入居者たちが家族や地域の方々と一緒にホームの夏の恒例行事を楽しみました。

まつりでは、子ども神輿をはじめ、ホーム職員によるヨサコイ踊り、はなづか太鼓の演奏のほか、今年は大正琴の演奏や飯館フラクラブ、老人クラブ会員らによる踊りも披露され、まつりの雰囲気

を盛り上げました。また、会場内にはホーム職員や社協、ボランティアの皆さんによる模擬店が並び、かき氷や焼きそばを買い求める人たちの長い列ができていました。

まつりの最後に行われた盆踊りでは、入居者とその家族たち、さらに来場者らが、やぐらを囲んで踊りの輪をつくり、楽しい「夏まつり」をみんなで過ごしていました。



▲朝日をあびて気持ちよく体操する参加者たち

それ！1・2の3

8/12 みんなでラジオ体操



▲ラジオ体操前にストレッチの指導をする佐藤直美さん（関根・松塚）

いきいきクラブ主催の「みんなでラジオ体操」がスポーツ公園陸上競技場で行われ、参加した80人がストレッチとラジオ体操で気持ちよく体を動かしました。

これは、同クラブと村が村民の健康づくり事業の一つとして今年度初めて実施したものです。

同クラブでは、事業や教室に参加するとポイントが貯まる「まめでたっしやに健康づくりポイントラリー」を実施中で、このラジオ体操もポイント対象になっています。

同クラブでは、「ぜひ多くの村民に運動を通じた健康づくりに励んで欲しい」と参加を呼びかけています。



誕生おめでとう

赤ちゃんのなまえ	親の氏名	行政区
志賀涼太くん	信幸・愛	飯 樋 町
新谷 凛ちゃん	利行・優子	伊 丹 沢

すくすくと元気に育ってね

結婚おめでとう

氏 名	行政区
赤 坂 晃	前田・八和木
佐 野 あつ美	前田・八和木
菅 野 瑞 紀	関 沢
菅 野 智佳子	関根・松塚

いつまでもお幸せに

おくやみ

氏 名	年 齢	行政区
佐 藤 俊 彦	66	伊 丹 沢
佐 野 ミヨ子	76	伊丹沢(前田・八和木)
佐々木 基 清	76	佐 須
齋 藤 ヒデ子	72	上 飯 樋

ご冥福をお祈り申し上げます

(7月21日から8月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

ひとのうごき

(平成19年8月1日現在)

人 口	今 月 (前月比)	昨年同月
男	3213人 (-1人)	3262人
女	3256人 (+0人)	3295人
計	6469人 (-1人)	6557人
世帯数	1733戸 (+2戸)	1740戸

◆◆◆7月1日～31日までの人口動態◆◆◆			
転入	10人	転出	7人
出生	2人	死亡	6人

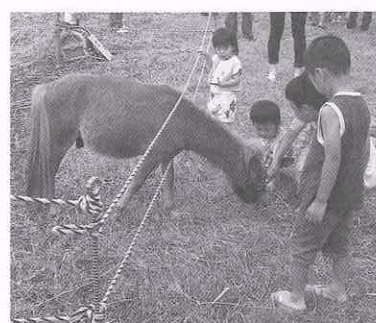
(平成17年国勢調査に基づき増減された現住人口)



▲湖上遊覧に出発する親子ら

森林やダムへの役割・重要性について広く知ってもらうことを目的に、真野ダム事務所などが毎年7月の「森と湖に親しむ旬間」期間中に開催している「はやま湖」森と湖まつりが、今年も大倉の真野ダム周辺を会場に行なわれました。

16回目を迎えた今年のまつりでは、ダム施設や取水トンネル見学、ポニー乗馬体験、モーターボートの湖上遊覧などが行な



▲ポニーと触れ合う子どもたち

われ、なかでも湖上遊覧は子どもから大人まで人気を集めました。

今年も、参議院議員選挙の投票日と重なったものの、会場は例年通りたくさんの方々が訪れました。

この前夜祭は、大倉行政区が「やるきつながりプラン」の補助を受け、真野ダム事務所や企業の協力を得て実施しました。

前夜祭では、佐須虎捕太鼓やアマチュアバンドの演奏が披露されたほか、お楽しみ抽選会や花火大会も行われ、会場に訪れ



▲花火に歓声をあげる観客ら

7/29

「はやま湖」まつり2007

大会報告のため菅野村長を訪ねた細川君は、「コンディションが良く、大会では練習の成果が発揮できた。国体の県代表

大会報告のため菅野村長を訪ねた細川君は、「コンディションが良く、大会では練習の成果が発揮できた。国体の県代表



▲菅野村長へ大会報告する細川君

細川君が全国2位 (スナッチ)

8/29 菅野村長へ大会報告



▲2位のメダルを掛け賞状を持ち、菅野村長と握手をする細川君(写真左)

こころの ぽけっと

「保護者のあり方」考えさせられる「弁当の日」

毎日のように、子どもにまつわる目を覆うような事件が起きています。そのようなことから、「わが村の子どもたちにもしっかりと心身の習慣付けを」と、ずっと思っていました。そのためには、どうしても保護者の協力が必要ということで、「しつけ」の面で「早ね・早起き・朝ごはん宣言」を、学習の面からは「学力達成マニフェスト事業」を、今年度からスタートさせたと決まりました。

「朝ごはん宣言」の事業の一つとして、1学期に1回、自分で台所に立つてつくる「弁当の日」を設けてみました。1学期中に実施された「弁当の日」の感想を紹介します。

まず子どもたちから。

「簡単そうに見えたけど、自分でつくと大変だった」「おかずのバランスが難しかった。一人暮らしをした時に役立つと思う」「親の大変さがよく分かった」「お母さんは難しいことを簡単にやってしまうので、すごいと思った」「ありがと

うと言われて嬉しかった(家族に)」「お母さんになった気分」「早起き出来ず、詰めるだけだった」「眠くて途中で布団に戻った」など。

一方、保護者からは「朝、忙しい主婦には迷惑な企画だ」「忙しくて言葉が荒くなった」という感想も1、2人いたようですが、数多くの保護者の感想は次のようなものでした。

「子どもがガスコンロの使い方を覚えた」「大人になった子どもの姿が見られた」「子どもの成長を感じた」「子どもに達成感や自信がついたようだ」「子どもは前日から張り切っていて心配したが、スムーズに出来た」「一生懸命な姿に感動した」「私(母)にも何か教えられるものがあつたんだと思った」「親のありがたみを知るきっかけをつくってもらった」「今までやらせなかったが、こんなに上手に出来るとは思わなかった」「お母さん、ありがと」と言われた」「次回も楽しみにしている。家族みんなのおにぎりをつくった」「これをきっかけに料理の楽しさを知って欲しい」「早ね・早起き・朝ごはん、みんな頑張れ(父親から)」。この感想を読まれて、皆さんはどのように感じられたでしょうか。

「弁当の日」は2学期もあります。

飯館村の「弁当の日」は、子どもに「心に残り思いに残るひと時」を親子で出来るチャンスが用意された、飯館村ならではの素晴らしい事業だと、私は思うのですが…。

平成19年8月26日

飯館村長 菅野 典雄

前夜には花火大会

7/28 「はやま湖」まつりの前日には、大倉体育館前で「前夜祭」が行われ、村内外から多くの人が訪れました。

た観客らは、真夏の夜空に次々と打ち上げられる花火に大きな歓声をあげていました。